

気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー10th シーズン」第4回講座を開催します

- 気仙沼市と東京海洋大学は、連携協力に係る協定に基づく取り組みの一環として、第10期の第4回講座を、令和6年5月28日（火）に開催します。
- 今回の講座は、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけます部門資源生態部長・佐藤 俊平氏が、『近年の北太平洋と日本におけるサケの資源状況』のテーマで、気仙沼の会場より講演します。
- 太平洋さけ・ます類の資源水準は、現在北太平洋全体において歴史的に高い状態にあるとされている一方、日本へのサケ来遊数は2005年以降減少傾向を示し、特に2010年代後半になると大きく落ち込んでいる状況であります。
- 北太平洋および日本におけるサケの資源状況について概説するとともに、近年の日本のサケ資源を取り巻く海洋環境等の変動とその影響についても説明します。
- 講座の概要は下記のとおりです。なお、本講座は第10期の最終回となります。第11期は今冬、決まり次第お知らせします。

【第4回講座の概要】

- 1 日 時 令和6年5月28日（火）午後3時から5時まで
- 2 場 所 気仙沼市水産研修センター 2階研修室
- 3 テー マ 「近年の北太平洋と日本におけるサケの資源状況について」
- 4 講 師 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
さけます部門 資源生態部長 佐藤 俊平 氏
- 5 主 催 気仙沼市・東京海洋大学
- 6 受講方法 ①か②のどちらかを選択することができます。
① 水産研修センター研修室で受講
② オンラインで受講（Webexにて配信）
- 7 問合せ先 気仙沼市産業部水産課 【担当】小松（大） TEL22-3435
東京海洋大学三陸サテライト 【担当】小松（朋） TEL29-6719

なお、これまでの開催実績は裏面のとおりです。

「海と生きる」連続水産セミナー」開催実績（第6期～） ※所属等は開催当時のものです。

【第6期】

第1回 R元. 12. 5	テーマ：「最適航路の考え方と自動運航船の現状」 講師：庄司 るり（東京海洋大学 副学長（学生支援・広報担当））
第2回 R2. 2. 15	テーマ：「環境技術と水産業」～環境事業への取組みのきっかけと環境コンサルタントの必要性 講師：田畑 日出男（いであ株式会社代表取締役会長・一般社団法人薬水会会長）

【第7期】

第1回 R2. 11. 27	テーマ：「スマート水産業の可能性と課題—電子商取引を中心として—」 講師：婁 小波（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R3. 1. 14	テーマ：「水中ロボットを使った水産業とその未来：持続可能な地域産業と豊かな海へ」 講師：和泉 充（東京海洋大学 海洋資源エネルギー学部門 教授）
第3回 R3. 3. 10	テーマ：「IUU（違法・無報告・無規制）漁業の問題とこれからの漁業・資源管理—水産政策の改革を踏まえて—」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）
第4回 R3. 6. 7	テーマ：「水産情報のスマート化—漁業情報サービスセンターの取組み」 講師：和田 時夫（一般社団法人 漁業情報サービスセンター 会長）外6名

【第8期】

第1回 R4. 3. 23	テーマ：「世界の海で何が起きているのか」 講師：森下 文二（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R4. 4. 14	テーマ：「地球温暖化と海～日本と世界の海で何が起きているのか」 座長：神田 譲太（東京海洋大学教授・日本海洋学会会長） 報告：「漁業の現場で今何が起きているのか」 齋藤 徹夫（気仙沼漁業協同組合 代表理事組合長） 「地球温暖化による海の変化とその影響」 須賀 利雄（東北大学大学院理学研究科 教授） 「地球全体のスケールで二酸化炭素を考えることの重要性と海洋」 野尻 幸宏（前 弘前大学理工学研究科 教授） 「酸性化が進む海～遠い北極海・身近な東京湾～」 川合 美千代（東京海洋大学学術研究院 准教授） 「地球温暖化が水産資源にどのような影響を及ぼしているか」 北門 利英（東京海洋大学学術研究院 教授）
第3回 R4. 6. 7	テーマ：「日本の漁業・水産業に何が起きているのか—その要因と今後を考える」 講師：松井 隆宏（東京海洋大学 海洋政策文化学部門 准教授）

【第9期】

第1回 R4. 12. 5	テーマ：「『水産エコラベル新時代』にどう向き合う？」 講師：垣添 直也（一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会会長）
第2回 R5. 1. 23	テーマ：「工夫すれば魚は売れる—漁師から見たらゴミ，消費者から見たら宝！」 講師：野本 良平（羽田市場株式会社代表取締役社長CEO）
第3回 R5. 3. 25	テーマ：「たかが魚屋，されど魚屋～なぜ角上魚類は『魚離れ』の時代に支持されるのか～」 講師：柳下 浩三（角上魚類株式会社 代表取締役社長）
第4回 R5. 6. 12	テーマ：「養殖業の最新動向と今後の展望」 講師：廣野 育生（東京海洋大学 海洋生物資源学部門 教授）

【第10期】

第1回 R5. 12. 15	テーマ：「海業の振興と課題」 講師：婁 小波（東京海洋大学 副学長・海洋政策文化学部門 教授）
第2回 R6. 3. 27	テーマ：「近年のサンマ資源減少にともなう生態の変化」 講師：巢山 哲（国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所水産資源研究センター広域性資源部外洋資源グループ 主幹研究員）
第3回 R6. 4. 17	テーマ「近年の北日本太平洋の海洋環境」 講師：黒田 寛（国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所水産資源研究センター海洋環境部寒流第1グループ長）